

令和7年度 世田谷区立尾山台小学校

学校関係者評価 報告書

日頃より本校の教育活動につきましてご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、例年、児童・保護者・地域の皆様をお願いしております学校関係者評価アンケート、今年度の集計が終わり、その結果をもとに学校関係者評価委員会を開催いたしました。改めて皆様のご協力に感謝いたします。保護者、地域の皆様からのアンケートの回答を Google Forms によるオンライン（匿名）でお願いしており、ご面倒をおかけしております。この点でのご協力により、回収率も徐々に上昇傾向にあり、重ねてお礼を申し上げます。

以下、評価委員会で分析・検討した結果とこれに基づく課題解決のための方策をまとめましたので、ご報告いたします。小田校長の学校運営が定着・安定し、先生方の熱心なご指導により、皆様からの信頼度も増しているように思います。その結果、評価の高さは全体的に維持されております。

この結果を踏まえ、さらなる教育活動の充実をめざした令和8年度の教育課程編成が、校長を中心とした全教職員・子どもたち・保護者・地域の〈チーム尾山台〉によって行われることを願っております。生き生きとした学校教育活動は、多くの保護者や地域の皆様からの温かい応援なくしては成り立ちません。引き続き、尾山台小学校を「うちの学校・うちの子どもたちの居場所」ととらえ、ご協力とともに、さらなるご意見をお寄せくださるよう、お願い申し上げます。

1 用紙の配布と回収について

	保護者（児童数配布*1）	児童（3～6年生）	地 域
回収数／配布数	348／500	320／346	29／60
回収率	69.6% (56.2%) ()内は、前年度	92% (97%) ()内は、前年度	48% (37%) ()内は、前年度

*1)保護者アンケートは児童数に合わせて各家庭に依頼

◆令和7年度 世田谷区立尾山台小学校学校関係者委員会

岩崎敬道 神谷順一 水田裕子 吉田直弘 高橋一仁

2 令和7年度の学校評価について

(1) 令和7年度学校経営方針の「教育目標」および「学校評価を踏まえた重点目標」（いずれも尾山台小学校HPを参照）に沿った評価

以下アンケートに表われた数字を挙げながら評価を述べる。アンケートは、(A) とてもそう思う、(B) 思う、(C) あまり思わない、(D) 思わない、(E) 分からないの5つの選択肢によって回答がなされており、以下ここでは、AとBとを合わせたものを「肯定的評価」、CとDとで「否定的評価」と記すことにする。

なお、児童アンケートは世田谷区において5、6年生においてのみ実施されているが、尾山台小学校では経年変化の分析のために、独自に3、4年生にもアンケートを実施している。この報告書における児童アンケートの数値は3～6年生の平均値である。

令和7年度学校経営方針

以下の「教育目標」の下、「重点目標」が掲げられている。(尾山台小学校HP参照)

教育目標

1. すすんで学ぶ子
2. あかるい心をもつ子
3. じょうぶな体をつくる子
4. なかよく力をあわせる子

重点目標

1. キャリア・未来デザイン教育の充実
2. 教育DXの推進
3. 多様性を尊重しながら共に学び、共に育つ教育の推進
4. 地域社会と協働した教育の推進
5. 「学校における働き方改革」の推進

【重点目標①】 キャリア・未来デザイン教育の充実

- 尾山台小学校では、キャリア教育の視点として①つながる力②見つめる力③たかめる力④ゆめにむかう力と定義しています。この点からすると、これらに対応するアンケート項目として、
 - 評価項目1「学ぶことが楽しい。」(児童) 肯定的評価84%
 - 同2「先生は、わたしたちが『わかる』『できる』授業をしようとしている」肯定的評価(児童) 91%, (保護者) 83%
 - 同3「授業では、頭を使って考えることが多いと思う」肯定的評価(児童) 87%, (保護者) 66%
 - 同4「授業では、話し合ったり発表しあったりする機会がある」肯定的評価(児童) 93%, (保護者) 93%
 - 同6「先生は、わたしたちが『すすんで学ぶ』ことに力を入れている」肯定的評価(児童) 87%, (保護者) 73%

- 同9「先生は、わたしたちが『なかよく力をあわせる』ことに力を入れている」肯定的評価（児童）89%、（保護者）80%
- 同21「わたしは、人とかかわりの中で自分が伸びていると感ずることがある」肯定的評価（児童）88%
- 同22「わたしは、自分のよいところ、得意なところがわかっている」肯定的評価（児童）90%
- 同23「わたしは、自分ができることを増やしたいと思っている」肯定的評価（児童）94%
- 同24「わたしは、こんな人になりたい、こんな人生を送りたいという目標をもっている」肯定的評価（児童）88%
- 同25「わたしは、みんなの役に立てたな、ここにいていいな、できたなと感ずることがある」肯定的評価（児童）85%
- 同26「この学校には自分の生き方や将来のことについて考える授業がある」肯定的評価（児童）85%

児童たちの評価を見ると、いずれも80%90%を超える数値もしくはそれに近い数値を示しています。授業を軸に、先生方が児童たちの学習活動に意識的にはたらきかけていることを児童たちが受けとめ、それを彼らが実感していることがうかがえます。保護者の評価は、必ずしもすべてが高いとはいえないものの、保護者の方々が実際の授業場面をご覧になる機会がそれほど多くないことを示しているものとも思えます。しかし、保護者の皆様が学校へ足を運ぶ機会、時間が限られる中では、致し方ないこととではないでしょうか。それでも多くの項目の評価から、保護者の方々からのご理解も十分得ていて、先生方への信頼度が高いことを感じ取ることができます。

また、この重点項目に対応するアンケート項目が多く、その評価が高いことは、尾山台小学校の教育がキャリア・デザイン教育が充実していることを示していると思われま

【重点目標②】 教育DXの推進

- この目標に直接対応するアンケート項目は、
 - 評価項目5「授業は、映像やタブレットを使っていてわかりやすい」肯定的評価（児童）90%、（保護者）76%

最近では小学校だけではなく、中・高等学校においてもDX化が進められています。一般に多くとらえられているのは、授業でどれだけタブレットを子どもたちが使っているか、使えるようになっていくかのようなものです。その使い方は必ずしも一様ではなく、しかも子どもたちがタブレットにどう向かい、取り組むか、またこれを使って彼らの発達にどうかかわっているか等、授業で具体的に扱われる場面は見えにくい状況であります。したがって、児童と保護者の結果がくいちがうこともありえることです。それでも児童からは90%、保護者の方々からも80%に近い数値が示されていることは、授業でのDX化が果たされていることを示していると思われま

また教育のDX化は授業場面に限ったことではなく、先生方の日頃の業務でも大きくかかわっています。この点は、アンケート項目からは見えにくくなっていることをつけ加えておきたいと思いま

【重点目標③】 多様性を尊重しながら共に学び、共に育つ教育の推進

多様性を尊重するということが具体的にどういうことなのか、それを考えたときに、まず基本となることが一人ひとりの子どもたち自身が自分の学びを楽しみをもって行っているかではないでしょうか。

● この点からすると、

- 評価項目1「学ぶことが楽しい」肯定的評価（児童）84%

が大事になるのではないのでしょうか。さらに

- 同9「先生は、わたしたちが「なかよく力をあわせる」ことに力を入れている」肯定的評価（児童）89%、（保護者）80%

さらに

- 同12「わたしは学校が好きで、学校は楽しいと思う」肯定的評価（児童）86%、（保護者）81%
- 同15「先生はわたしたちのやる気を大切にしている」肯定的評価（児童）87%、（保護者）80%
- 同21「わたしは、人とのかかわりの中で自分が伸びていると感ずることがある」肯定的評価（児童）88%
- 同25「わたしは、みんなの役に立てたな、ここにいていいな、できたなと感ずることがある」肯定的評価（児童）85%

が示す高い数値は、協同して育つ、育てるという公立学校がもつ教育の本質的部分を、尾山台小学校の教育が示しているように思われます。

【重点目標④】 地域社会と協働した教育の推進

● この点は、主に地域の方々へのアンケート結果からうかがうことができます。

- 評価項目2「尾山台小学校の子どもたちはすくすく育っていると感じる」肯定的評価93%
- 同3「学校行事などで、尾山台小学校は地域への配慮がある」肯定的評価93%
- 同5「尾山台小学校は、学校公開や行事等で学校に顔を出しやすい」肯定的評価83%
- 同6「尾山台小学校は地域と連携した教育活動ができている」肯定的評価93%
- 同7「尾山台小学校が大切にしていること（「地域と連携したキャリア教育」・「笑顔いっぱい・元気いっぱい」・「安心・安全」・「わかる・できる指導」「子どもの成長を認めて伸ばす指導」）を知っている」肯定的評価83%
- 同8「地域行事や翠と溪のスポーツ文化クラブの活動などでは、尾山台小学校を地域の施設として活用できている」肯定的評価89%
- 同9「防災や防犯、安全について、地域と尾山台小学校は協力できている」肯定的評価83%

とりわけ、アンケート項目7の学校が大事にしていることを知っていただいていることは、連携の大前提のとして欠かせないことです。これを踏まえて、これまで以上に地域連携の輪がかたく結ばれ、協働を果たせることを期待したいと思います。

【重点目標⑤】 「学校における働き方改革」の推進

● この目標に対してアンケートから直接評価することは難しいように思います。ただ、何度か開かれ

る関係者評価委員会の折に、毎回校長から詳細にご報告いただく内容から、「改革」が進められている様子が伺えます。その一方で、敢えてアンケート結果から、先生方の子どもたちへの対応、とりわけ個別対応の点で、いくぶん見ることができるように思います。例えば、

- 評価項目 17「先生に相談できる」肯定的評価（児童）79%、（保護者）79%
- 同 18「わたしががんばったことやできたことを、先生は認めてくれる」肯定的評価（児童）87%、（保護者）86%

の評価に、先生方が一人ひとりの子どもの成長とそのための指導に取り組んで下さっていることをうかがうことができます。

また、この「働き方改革」というのは、世間一般では労働時間の短縮に目が向き、これも大切なことですが、教員および学校関係者が「働きがい」のあるような仕事にできているかが、人間として生きることと大きくかかわっているように思います。もちろん、これも時間的余裕がないことにははじまりませんが。

（2）その他の項目の評価

- 年来の検討課題である子どもたちの体力づくりと読書ですが、この点に少し触れておきたいと思います。体力づくりに関しては、

- 評価項目 8「先生は、わたしたちが『じょうぶな体をつくる』ことに力を入れている」肯定的評価（児童）87%、（保護者）75%

読書については、

- 同 19「わたしは本を読むことが好きだ」肯定的評価（児童）75%、（保護者）59%
- 同 29「わたしは、図書館に行って本を読んでいる」肯定的評価（児童）55%
- 同 30「わたしは、家で本を読む時間をとっている」肯定的評価（児童）66%

となっています。これは尾山台小学校の子どもたちに限ったことではなく、われわれ多くの大人ですら読書離れが進んでいることと軌を一にしているものかもしれません。そういう中での先生方の読書指導の工夫も、並大抵のことではないでしょう。

そしてもう一つ大事なこととして挙げられるのは、

- 同 28「わたしは、家で日記を書いている」肯定的評価（児童）66%

です。成長期の子どもたちにとって、つねに自分を顧みる機会をもつことの大切さがあります。アンケートにこの項目を入れていることに、そして SNS をはじめとして周りの声に振り回される可能性が高い現在、じっくり自分と向き合う機会を持つことに、学校としての教育の姿勢の一つを鑑みることができます。

- 昨年度も視ましたが、災害や犯罪に対する心配があふれるような状況に、学校が子どもたちの居場所として安心、安全に過ごせる場かどうか問われるところです。この点に関し、

- 評価項目 11「学校は、安心、安全に過ごせる場所だと思う」肯定的評価（児童）86%、（保護者）86%
- 地域評価項目 9「防災や防犯、安全について、地域と尾山台小学校は協力できている」肯定的評価 83%

など、子どもたち・保護者・地域の評価は、比較的高いものになっています。これは先生方とともに、地域の方々の協力にもよるものでしょう。

3 評価のまとめ

アンケートの結果として例年同様全般的に見て評価が高く、学校経営方針に基づく運営の目標は概ね達成されており、学校経営全体として大きな問題はないと言える。どの学校でも起きるさまざまな個別の案件にもかかわらず、安定的な教育が維持できていることは、尾山台小学校の教育が継承・発展していることの結果ではないでしょうか。

昨年度も紹介させていただいたように、多くの子どもたちが学校生活を楽しいと感じ、また先生への信頼も高いことから、彼らにとって学校という存在がとても大事になっています。それは子どもたち一人ひとりの努力と先生方の細やかな個別対応、そして各家庭の支えが大きく、その結果の顕われでしょう。先生方、保護者の方々の労へのねぎらいと感謝とともに、子どもたちにエールを送ります。

これらも日常の地域の方々の陰の支えがあってこそです。引きつづきご支援を給われれば幸いです。

令和8年度も、「かしこく・なかよく・げんきよく・すこやかに」学ぶ子どもたちが育つ「安心・安全な学校」づくりがさらに進められ、「笑顔いっぱい！ 元気いっぱい！」な子どもたちの成長を、保護者も地域も温かく見守りつつ、喜びあう学校経営が積極的に進められることを願います。